

PART 2

ROAD RACES

ロード・レース

2025年7月1日改訂版

色分けについて: 改定箇所: 赤字、削除された箇所: 取り消し線 + 緑色、既存の訳を修正した箇所: 水色

Chapter III ONE-DAY RACES
第III章 ワンデイ・レース

改訂前	改訂後
2.3.036 Sprints スプリント 競技者が、スプリントを開始した時に選択したレーンから逸れて他者に危険をもたらしたりすることは厳禁とする。	2.3.036 Sprints スプリント 競技者が、スプリントを開始した時に選択したレーンから逸れて他者を妨げたり危険をもたらしたりすることは厳禁とする。

改訂前	改訂後
2.6.018 Leader's jersey of the race and distinctive signs リーダー・ジャージおよび特有の目印 下記大会においては、順位に基づき、4種のリーダー・ジャージを授与することができる： - UCIワールド・ツアーの男子競技 - UCI女子ワールド・ツアーの女子競技 - UCIプロシリーズおよびクラス1大会の男子エリートおよびU23競技 それ以外の競技においては最多6つのリーダー・ジャージを授与することができる。 個人総合時間順位のリーダー・ジャージに限り、授与は義務付けられる。 団体順位を除く各順位の首位者は、各順位に対応するジャージの着用を義務付けられる。 一人の競技者が1つ以上の順位において首位となった場合、首位者を示すジャージの着用優先順は下記の通りとする： 1. 個人総合時間順位； 2. 個人総合ポイント順位； 3. 個人総合山岳賞順位； 4. その他（若年競技者、複合、etc.）；これらのその他順位のジャージの着用優先順は主催者が決定する この場合、主催者は、当該順位の次位競技者に対して、その順位首位者に着用されないジャージを着用するよう要求できる。ただし、この競技者が世界もしくは国内選手権者のジャージ、またはUCIカップ、サーキット、シリーズ、ランキングの首位者のジャージ着用を要求される場合は、そのジャージを着用しなければならない。 順位首位者があるステージをスタートしない場合、当該順位の事実上の首位者は、主催者とチーフ・コミセール両方の同意を条件に、当該ジャージを着用することを許される。	2.6.018 Leader's jersey of the race and distinctive signs リーダー・ジャージおよび識別標 下記大会においては、順位に基づき、4種のリーダー・ジャージを授与することができる： - UCIワールド・ツアーの男子競技 - UCI女子ワールド・ツアーの女子競技 - UCIプロシリーズおよびクラス1大会の男子エリートおよびU23競技 それ以外の競技においては最多6つのリーダー・ジャージを授与することができる。 個人総合順位（タイム）のリーダー・ジャージに限り、授与は義務付けられる。 団体順位を除く各順位の首位者は、各順位に対応するジャージの着用を義務付けられる。 一人の競技者が1つ以上の順位において首位となった場合、首位者を示すジャージの着用優先順は下記の通りとする： 1. 個人総合順位（タイム）； 2. 個人総合順位（ポイント）； 3. 山岳賞総合順位； 4. その他（ヤングライダー、複合、etc.）；これらのその他順位のジャージの着用優先順は主催者が決定する この場合、大会主催者は、当該順位区分における次位競技者に対して、その順位首位者が着用していないリーダー・ジャージを着用するよう求めることができる。ただし、その競技者が世界選手権者のジャージ、大陸選手権者のジャージもしくは国内選手権者のジャージ、またはUCIカップ、サーキット、シリーズ、ランキングの首位者のジャージを着用しなければならない場合は、そのジャージを着用しなければならない。 順位首位者があるステージをスタートしない場合、当該順位の事実上の首位者は、主催者とチーフ・コミセール両方の同意を条件に、当該ジャ

団体順位において首位のチームの競技者は、主催者からの要求に応じて、特有のボディナンバーを付ける。

首位チームのジャージの授与は、式典とレースの両方において禁止される。

ステージレースの初日（プロローグまたはステージ）においては、**いかなる競技者も**リーダー・ジャージまたは**識別標**を着用してはならない。

~~リーダー・ジャージまたは特有の目印は、第1.3.055条bis 第5項に相当する場合には着用を禁じられる。~~

ージを着用することを許される。

団体順位において首位のチームの競技者は、主催者からの要求に応じて、特有のボディナンバーを付ける。

首位チームのジャージの授与は、式典とレースの両方において禁止される。

ステージレースの初日（プロローグまたはステージ）においては、**いかなる競技者も**リーダー・ジャージまたは**識別標**を着用してはならない。

~~リーダー・ジャージまたは識別標は、第1.3.055条bis 第5項に相当する場合には着用を禁じられる。~~

改訂前	改訂後
2.6.027 Finish フィニッシュ ロードレース・ステージにおける最後の3km以内で、正式に確認されたインシデントが発生した場合、影響を受けた競技者は、当該インシデント発生時に共に走行していた競技者または属していた集団と同タイムと認められる。競技者の順位は、実際にフィニッシュラインを横切った順によるものとする。 競技者による制御または身体的能力に関係しない出来事（複数の競技者を巻き込む落車、自転車の故障、パンク）であり、かつ、それが生じた時点で共に走行していた競技者たちと離れる意思がなかった場合のあらゆる出来事がインシデントと見なされる。 前項に定義されたインシデントの影響を受けた競技者は、自ら手を挙げてコミセールに知らせ、ステージ終了後にコミセールに報告することを求められる。 最後の3km以内における、正式に確認された他の複数の競技者を巻き込む落車によりフィニッシュラインを通過できなかった競技者は、そのステージの最下位に順位付けられ、落車時に一緒だった競技者または集団のタイムが与えられる。 本条項は、フィニッシュが登坂の頂上にある場合は適用しない。 本条項に関する決定は、コミセール・パネルが個別に結論を下す。 UCIは要請があった場合、そして特にステージにおける特定の状況、特に安全上の理由から正当とされる場合、距離を3kmから5km延長する決定を下すことができる。大会主催者およびその他の関係者は、この延長を申請し、申請の評価に必要な書類を提出することができる。これには、コースマップ、ステージの高低表、GPXファイル、およびその他の関連情報やUCIが要求する情報を含む関連書類が含まれる。 大会主催者による申請は、原則としてテクニカルガイドの発行前に提出されなければならない。申請が受理された場合、その詳細は大会の特別規則に含まれなければならない。	2.6.027 Finish フィニッシュ ロードレース・ステージにおける最後の3km以内で、正式に確認されたインシデントが発生した場合、影響を受けた競技者は、当該インシデント発生時に共に走行していた競技者または属していた集団と同タイムと認められる。競技者の順位は、実際にフィニッシュラインを横切った順によるものとする。 競技者による制御または身体的能力に関係しない出来事（複数の競技者を巻き込む落車、自転車の故障、パンク）であり、かつ、それが生じた時点で共に走行していた競技者たちと離れる意思がなかった場合のあらゆる出来事がインシデントと見なされる。 前項に定義されたインシデントの影響を受けた競技者は、自ら手を挙げてコミセールに知らせ、ステージ終了後にコミセールに報告することを求められる。 最後の3km以内における、正式に確認された他の複数の競技者を巻き込む落車によりフィニッシュラインを通過できなかった競技者は、そのステージの最下位に順位付けられ、落車時に一緒だった競技者または集団のタイムが与えられる。 本条項は、フィニッシュが登坂の頂上にある場合は適用しない。 本条項に関する決定は、コミセール・パネルが個別に結論を下す。 集団スプリントでのフィニッシュが予想されるステージにおいて、UCIは要請があった場合、そして特にステージにおける特定の状況、特に安全上の理由から正当とされる場合、距離を3kmから5km延長する決定を下すことができる。大会主催者およびその他の関係者は、この延長を申請し、申請の評価に必要な書類を提出することができる。これには、コースマップ、ステージの高低表、GPXファイル、およびその他の関連情報やUCIが要求する情報を含む関連書類が含まれる。 大会主催者による申請は、原則としてテクニカルガイドの発行前に提出されなければならない。申請が受理された場合、その詳細は大会の特別規則に含まれなければならない。

テクニカルガイドの発行後に申請が受理された場合、その詳細はステージの開始前にレースのコミュニケにて公表されなければならない。

テクニカルガイドの発行後に申請が受理された場合、その詳細はステージの開始前にレースのコミュニケにて公表されなければならない。